

〇〇 〇〇 〇〇 の番号は記入要領の項目番号

1 記入日が承認開始日ではありません。 XX年〇月〇日

2 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律施行細則第19条に基づく医療費助成(新規認定・更新)を申請します。

3, 4 申請者氏名 東京太郎 申請者住所 〇〇市△△町2-8-1 患者との関係 本人

5 フリガナ トウキョウ タロウ 東京太郎 (男・女) 生年月日 昭和19年10月1日 (76歳)

6 保険の種類 1 社保本人 2 社保家族 3 国保一般 4 国保退職本人 5 国保退職家族

7 I 病名 1 肺結核 2 結核性胸膜炎 3

8 III 現在の受診状況 (1) 1 入院中 2 外来治療中

9 IV 治療方針 1 化学療法のみ

10 VI ツベルクリン反応・QFT等

11 VII 結核に関する既往医療 (1) 今回の治療 1 初回治療 2 継続治療 3 再治療 3 不明

12 VIII 今回の治療内容 (1) 化学療法 XX年6月〇〇日から 抗結核薬(4)剤使用

13 IX 検査 (1) 菌所見(検査中のものは、当該検査の欄へその旨を御記入ください。)

14 X 最新のエックス線及びCT所見 (1) エックス線写真略図及びその他の所見 (3) 学会分類

15 (4) CT所見

16 注意 1 該当する文字については、その文字(頭数があるときは、その数字とする。)を○で囲んでください。

結核医療費公費負担・東京都医療費助成申請書(第13号様式の3)記入要領

【注意】

- 公費負担の承認は、保健所が申請書を受理した日からとなります。
 - 継続申請する場合は、一番最近に撮影されたエックス線写真(3か月以内)を添えて、患者票の有効期限の2週間前までに再申請してください。
 - 治療薬剤が変更となる時、承認された治療薬以外を追加して治療を行う場合は、改めて申請が必要です。
 - 転入等で申請先の自治体が変わる場合は、転入先の管轄保健所に改めて申請することが必要です。
- ※ 医療機関が変更となる場合は、医療機関変更届が必要です。

個人番号欄は記入しないでください。

1 申請年月日

保健所に申請する年月日を記入してください。

※承認開始は保健所が受理した日からとなりますので、記入日が承認開始日ということではありません。

2 申請書口欄

該当する申請について を記入してください。

3 申請者氏名、申請者住所

当該申請に係る患者若しくは患者の保護者(親権を行う者又は後見人をいう。以下同じ。)の氏名、住所を記入してください。原則として申請者本人又は保護者が記入してください。

ただし、患者の病状等やむを得ない事由により、当該患者又はその保護者が申請書を作成できない場合は、当該患者の入院に係る勧告又は措置を行った保健所又は入院先の感染症指定医療機関は、当該患者又はその保護者の同意に基づき申請書の作成を代行することができます。(感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律施行細則第14条第3項)

代筆する場合は、必ず本人の承諾を得てください。

4 患者との関係

申請者欄を患者の保護者が記入した場合に、患者との関係を事実即して記入してください。

5 保険種類

共済組合員は、「1 社保本人」あるいは「2 社保家族」に○をしてください。

国保組合の場合は「3 国保一般」に○をしてください。

6 診断書

診断書欄以下は医師が記入し、申請書右下欄に診断書作成年月日、署名又は記名押印してください。

7 II 経過

(1) 発病の時期

咳などの症状が出現した時期を記入してください。

(4) 医療開始時期

結核に係る治療開始時期を記入してください。

例1 37条から37条の2への切り替え申請時は、37条で治療開始した時期

例2 治療変更時の申請の時は、当該疾患で治療開始した時期

例3 転入等で改めて申請する時は、今回治療開始する医療機関での治療開始時期ではなく、前医等で既に行っていた治療の開始時期

※ 今回申請に係る治療開始時期ではありません。

8 III 現在の受診状況

(1) 入院年月日

患者が現に入院している場合には、実際に入院した年月日を記入してください。

(2) 入院理由

該当するものに○をしてください。

(3) 合併症

該当するものがあれば○をしてください。

9 IV 治療方針

現時点での治療方針について該当する番号を○で囲み、その他の場合は（ ）内に記入してください。

10 VI ツベルクリン反応・QFT等

(1) ツベルクリン反応（最新のもの）

記載方法は、下表のとおりです。

$b_1 \times b_2$	a_1 ; 発赤長径	a_2 ; 発赤短径
————— ($c_1 \times c_2$)	b_1 ; 硬結長径	b_2 ; 硬結短径
$a_1 \times a_2$	c_1 ; 二重発赤長径	c_2 ; 二重発赤短径

(3) BCG接種歴

「1有」の場合、年月を記入してください。

(4) リンパ球菌の特異蛋白刺激による放出インターフェロン γ 試験（QFT等）

実施したIGRAの結果について該当する番号を○で囲み、実施日を（ ）内に記入してください。

1 1 VII 結核に関する既往医療

(1) 今回の治療

1 ①初回治療 ②継続治療

今回の結核治療について、初めての申請する場合は、①初回治療に○、37条で治療経過があり、37条の2の切替え申請の場合は、②継続治療に○をしてください。

2 再治療

結核に対する化学療法を過去に1か月以上受け、かつ、その治療終了後2か月以上経過しており、再度結核の治療を行う場合をいいます。

この場合は、下記(2)再治療の場合、既往医療 についてもわかる範囲で記入してください。

(2) 再治療の場合、既往医療

今回の治療が再治療の場合、過去に行われた結核の治療について、その期間と治療内容について記入してください。

継続申請時には、記入不要です。

1 2 VIII 今回の治療内容

今回の治療内容について、記入してください。

例1 新規申請時

例2 治療内容に変更があった場合

例3 手術が必要になった場合

(1) 化学療法

今回の治療内容について、() に使用する抗結核薬数を記入し、薬剤名を○で囲み、当該治療を開始したもしくは変更した年月日を記入してください。

例 37条の2の切替え申請時に標準治療4剤から2剤に変更になっている場合は、2剤に変更した年月日を記入する。

(2) 副腎皮質ホルモン剤の使用の有無

副腎皮質ホルモン剤を使用している場合は薬品名も記入してください。

(3) 外科的療法

外科的療法を行う場合は、該当する病名を○で囲み、方法について〔 〕内に記載してください。

・手術予定（実施）時期

手術予定日を記入してください。

ただし、外科的療法及びそれに伴う収容が承認された場合において、その公費負担の承認期間が満了した後も引き続き収容が必要である時は、継続申請が必要となります。

その際は承認期間満了後以降の必要な収容期間を記入するとともに、「手術予定（実施）年月日」欄に手術実施日を記入してください。

骨関節結核の装具療法の場合、手術予定日は不良肢位の伸展又は矯正療法の開始日を記入してください。

1 3 IX 検査

(1) 菌検査

最新のものを含む過去6か月以内に行った結果について、記入してください。

初回申請時は3日間連続検痰を実施し、結果を記入してください。

培養検査の結果がまだ判明していないときは、検査中として培養欄に「中」と記入してください。

それぞれの検査に用いた検体の種類について、()内に該当する検体記号を記入してください。

(2) 菌陰性化時期

過去において排菌していた患者について、その菌陰性化の時期を把握している場合はその時期を記入してください。

(3) 薬剤耐性試験成績

治療開始時の培養検査の結果が陽性の場合、薬剤耐性試験を実施し、その結果を記入してください。

1 4 X 最新のエックス線及びCT所見

(1) エックス線写真略図及びその他の所見

エックス線写真略図をスケッチしてください。

肺外結核の場合は、エックス線写真略図及び必要所見を記入してください。

* 肺外結核であっても、肺が初発病巣である可能性もあるため、胸部エックス線写真の添付が望ましい。

(2) 撮影時期

(1)でスケッチしたエックス線写真の撮影時期を記入してください。

(3) 学会分類

学会分類は、日本結核病学会「新しい結核用語辞典」巻末資料を参考に記入してください。

ウェブサイト <http://www.kekkaku.gr.jp/books/pdf/kanmatu.pdf>

1 5 書ききれない場合

治療内容等が書ききれない場合は、申請書右側下の『備考』欄に項番を付して記入してください。

1 6 保健所記入欄 発生動向調査コード、感染症の審査に関する協議会意見

保健所で記入します。